

■春日局 大奥女中。徳川家光の乳母。家康に直訴して家光の將軍継嗣に成功、大奥を牛耳り、無冠無位で参内も。

かすがのつぼね

安土教会許可1579= おそらく丹波国黒井城下で、明智光秀の重臣斎藤利三の娘に生まれる。母は稲葉通明の娘。名は福。

本能寺の変・1582= 3歳：明智滅亡とともに、父利三が処刑されたため、

以後、母や兄とともに、稲葉氏や親友らの助けを得ながら、苦難の日を送る。

刀狩海賊取締1588= 9歳：

秀吉全国統一1590=11歳：

26聖人殉教・1596=17歳：この頃、従兄稲葉重通の養女となり、その養子正成の後妻となって、

慶長の役・・1597=18歳：長男正勝を出産、以後、2男2女を生む。

豊臣秀吉没・1598=19歳：

関ヶ原の戦い・1600=21歳：

のち正成と離別、再び母と同居し、生活に困窮するなか、

糸割符法始・1604=25歳：_竹千代(家光)の誕生に際し、その乳母に抜擢され、長男正勝も小姓になり、母子ともに江戸城に入る。

江戸城完成・1606=27歳：

家康駿府退隠1607=28歳：

_献身的につとめ、家康の側室お勝に近づいて知遇を得、乳母とは別に置かれることになった竹千代の傳役青山忠俊・土井利勝・酒井忠世らに接近する一方、傳役が分離されたため、乳母役に専念することで、家光にとって息抜きとなるまさに母をも超える存在となって行く。

將軍秀忠夫妻の愛が国松(忠長)に傾くなか、

大坂夏の陣・1615=36歳：*ひそかに駿府の大御所家康に直訴し、家光の世嗣決定に大きな役割を果たす。

徳川家康没・1616=37歳：

・・・1618=39歳：この年、大奥法度が制定される。

_すでに、幕府出される大名証人(人質)のうち、女性に関する事項を管轄する役目を担っていた上、

支倉常長帰国1620=41歳：この年、秀忠の娘和子が後水尾天皇の女御になり、

家光自身の乳母役が減ずるに従い、將軍家全体の乳母として高い地位を持続するようになり、

徳川家光將軍1623=44歳：*家光が將軍になって、

イパニヤ断交・1624=45歳：この年、和子が後水尾天皇の中宮(東福門院)となる。この頃、_幕府の恩恵に報いようと、寺の建立を思立ち、これを知った家光から湯島の土地を贈られ、報恩山天沢寺を建立、

寛永寺創建・1625=46歳：_家光が正室を迎えた直後に、

人身売買禁止1626=47歳：*家光の生母崇源院が死去してしまったことから、大奥の一切を統率する役(総攬)を与えられ、

紫衣事件・・1629=50歳：_いわゆる紫衣事件に際し、天皇家に対する將軍家の交渉役として、秀忠の内意をうけて上洛、公家三条西実条の計らいで、その猶妹となって参内し、後水尾天皇に拝謁。このとき春日局号を賜り、その後も朝廷に対する幕府側使節の役をつとめ、その権勢はさらに高まり、もろもろの“掟”を制定したといい、その影響力は將軍家光をはじめ幕府の内外におよぶ。

寛永禁書令・1630=51歳：_天沢寺に高僧涇川を住職として迎え、改めて自身の菩提寺とし、

徳川秀忠没・1632=53歳：

鎖国令始・・1633=54歳：

鎖国令Ⅱ・・1634=55歳：長男正勝の死去後、涇川から法号を与えられ、これを喜んだ家光から法号をもって寺号とするように命じられ、_天沢山麟祥院と号するようになり、

家光鎖国完成1641=62歳：家光の長男家綱生誕1ヶ月の御披露目に際しては、家綱を抱く中心的役割をつとめる。

初の高札・・1642=63歳：

寛永飢饉終・1643=64歳：*死に臨み、家光の病氣平癒に命をかけ、服薬せずに没した。